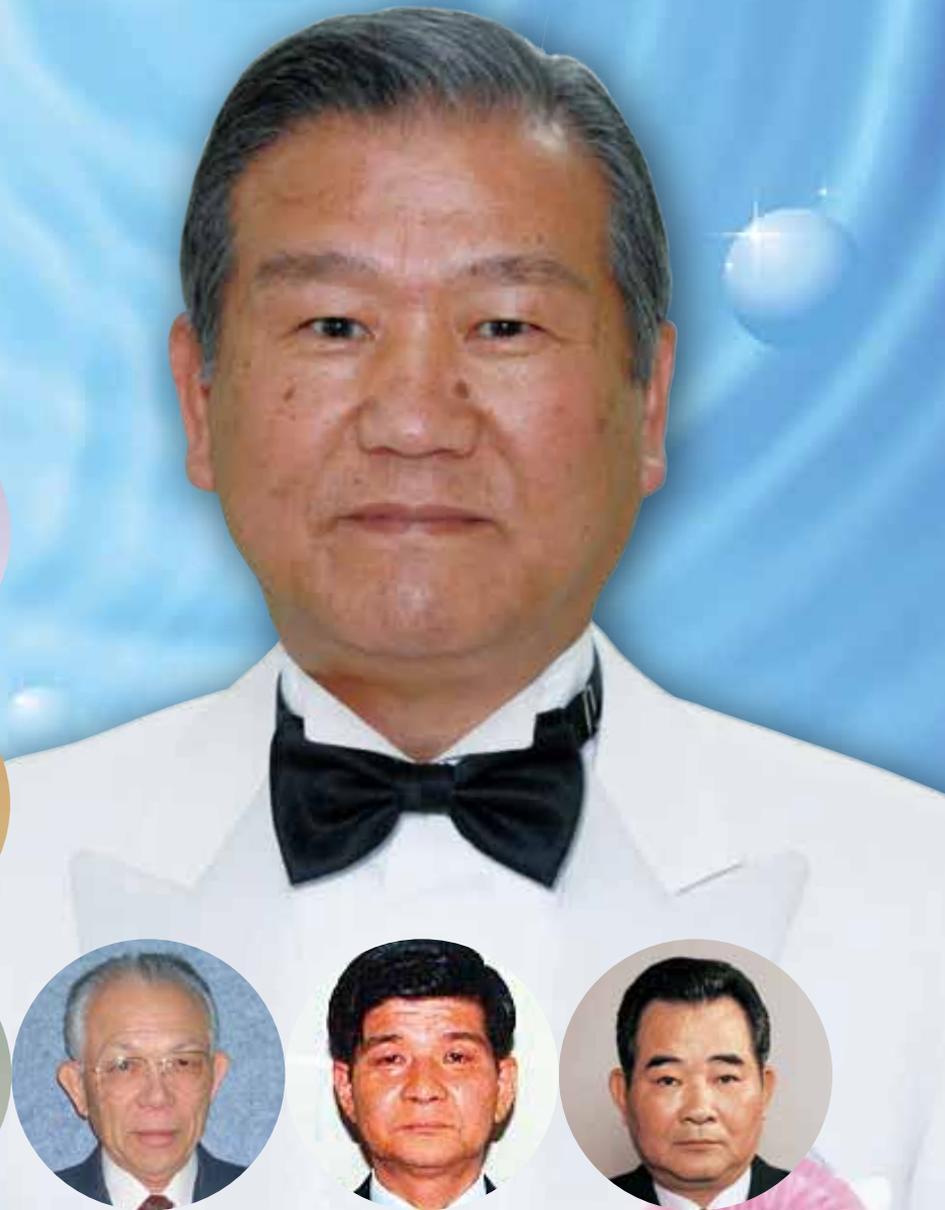


Lions Club International District 337-A JAPAN

THE LIONS TIMES

ザ ライオンズ タイムズ

vol.172 2010



新しいコミュニケーションツール

ライオンネットを活用しよう
青年アカデミー委員会発足



国際会長: Sid L. Scruggs III

希望の光

A BEACON OF HOPE



2010~2011年度 国際テーマのハイライト

奉仕にフォーカス

2010~2011年度、各地区は、人道奉仕における発展に向けて行動を起こすよう奨励されます。私たちは「希望の光」となり、「われわれは奉仕する」のモットーを「照らす」必要があります。近年の経済危機、そして世界規模の天災や人災

の発生に伴い、「実地参加型」の奉仕がますます重要となってきています。これまで以上に、ライオンズを必要とする多くの恵まれない人々があります。また、人生に意義を探し求めている人々や、奉仕することに自分の時間を使いたいと考えている人々もいます。奉仕に力を入れる2010~2011年度、私たちは下記をする必要があります。

奉仕に光を

私たちは、リアルタイムで成果を示すテクノロジーを活用し、世界規模の奉仕キャンペーンを実施します。私たちのキャンペーンは、会員を一人残らず意味のある奉仕に参加させるものとなります。

私たちは、「奉仕と使命のデータベース」を通じてライオンズの奉仕の使命への献身を新たにすると同時に、公認奉仕プログラムを推進することにより、新会員を引き寄せていきます。私たちが積極的にサポートする奉仕戦略は以下の通りです。

- ・「グローバル奉仕実施キャンペーン」を実行する
- ・「First Service Pledge(奉仕の誓い)」にサインするようクラブに奨励する
- ・「国際会長の奉仕ブログ」について読み、情報を広める
- ・「奉仕ニーズ調査」に対する情報および資料を提供する

PRに光を

奉仕と効果的なPR活動は切り離すことができません。ライオンズクラブ国際協会のウェブサイトに掲載されている資料や情報を活用しながら効果的なPRプログラムを企画するとともに、「希望の光アワード」についての情報も公開します。また、クラブには「看板奉仕事業」を設けるよう奨励します。

会員に光を

ライオンズは自分たちの行っていること、つまり自分たちの活動が人々の暮らしに役立っていることに誇りを持っています。奉仕事業の数を増やし、「奉仕といえばライオンズクラブ国際協会」と言われるように評判をしっかりと築くことで、ライオンズの会員は、その一員であることを誇りにすることができます。

私たちは地域での奉仕事業を向上させることで会員維持率を高め、さらには新会員を引き寄せていきます。また、「輝かしいスタート賞」の詳細も知らせます。

青少年に光を

さまざまな青少年関連プログラムの実施を通して私たちは青少年が奉仕を重視するよう促し、将来に向けて彼らを準備します。そのために私たちは以下を行います。

- ・テクノロジーとソーシャルネットワーキングを利用し、今日の若者を奉仕に関与させ引き込む
- ・「青少年大使」を設ける
- ・「国際青少年音楽コンクール」を普及させる
- ・視覚障害を持つ青少年(11~13歳)を対象とする作文コンテストに関する知識を深める

指導力育成に光を

奉仕事業の実施を通じて、会員は自己の指導能力を発揮する機会を得ることができます。リーダーとしての可能性を秘めた人を見出し、育てていくために私たちは下記を行います。

- ・「ライオンズ基礎メンター・プログラム」の使用を推進・奨励する
- ・クラブ役員とゾーン・チェアパーソンを対象とする実用的な実務研修を実施する
- ・オンライン研修資料や研修コースの活用を奨励する(リーダーシップ情報センター/ライオンズ学習センター)
- ・指導的責任を担うように、ライオンズに奨励する
- ・指導力育成の機会について、新会員/会員候補者に伝える
- ・地域で行われる研修プログラムへの参加を促す(ライオンズリーダーシップ研究会/講師育成研究会)

チャリティに光を

ライオンズは奉仕をするだけでなく自己の財源から寄付もします。私たちはLCIFへの支援を強調し、増大させる必要があります。これを成し遂げるために私たちは以下を行います。

- ・LCIFの各種プログラムを、それらが一人ひとりの人生に及ぼす影響について理解を深める
- ・クラブおよび個人からのLCIF献金を推進する
- ・献金と推進において複合地区/地区のLCIFコーディネーターを連携する

ガバナー提言



地区ガバナー 吉田 勲



ライオンズクラブ組織も、個々がお互いの意見をよく聞き立場を理解し協力しあってこそ、初めて一致団結した大きな力を発揮できると思います。ライオンズクラブの将来のために、楽しいライオンズライフを目指したいと考えてます。

つぶやき（ツイッター）として

「あまり立派すぎることは長続きしないことだと気づきました。常に完璧を目指すことは不自然なことだと気づきました。相手を非難することがあってもその資格が自分にあるのかと思いつつ、自分が正しいと確信しても相手に言うときは、少しひかえめにするほうがいい。相手は傷つきやすいものだと気づいているほうがいいと思いました。片意地張らず、自然体で奉仕に臨むことが長続きの秘訣だと思いました。そして、社会奉仕の途中になぜ胸が熱くなるのか黙っていても分かってくるようであれば、ライオンズクラブの明日は永遠である。」

アメリカで生まれ、人々の共感を呼び、世界中に広がっていったライオンズクラブ。アジアのライオンズとして、日本的な寛容な物事を感じ取る発想があっても良いと思っています。今こそ絶好の機会・改革に挑戦しましょう。お互いに違った生き方や考え方があってもそれぞれの考え方を認め合いながら、337-A地区の心はひとつ。一致団結して“奉仕”に前進したいと思っています。そんな私の思いを書き記しながら、ガバナーの心構えとして提言を“異体同心”としました。

337-A地区ライオンズクラブ将来のために、キャビネット事務局の常設などの諸改革に着手しています。ライオンズ先駆者の築かれた歴史を基礎にして、ストップ・ザ・リテンション地区を挙げて、新しい時代を切り開くために変革を進めてまいります。エネルギーを要しますが、チャレンジしてやり抜きます。皆様のご理解を賜り、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

シンボルマークについて



ピンの外形全体はヘレン・ケラーの“盲人のための騎士の盾”であり、また九州の形です。A・B・C・D・E 5つの準地区で構成されているMD337・全九州を表しています。ピンの左側には誇りあるライオンズマークを、向かって右側にはB・C・D・Eの4準地区を表現し、最上部が337A地区です。337A地区の5リジョンを煌めく星（スワロフスキー）で表現し、わたしたちの準地区はDIST. 337-Aと英語で明記しました。L. 吉田キャビネットの力強さと変革をスマートにイメージしたデザインです。世界中の何処でも、また何時までも時代を超えて着用できるピンです。

バナーについて



ライオンズクラブ国際協会337-A地区と日本国旗を上部に、ガバナーのピンを中央に、異体同心の提言をその下、ガバナー吉田 勲の任期期間と所属北九州紫水ライオンズクラブを配置しました。4,500名以上の会員からなる337-A地区の会員の一人一人をそれぞれ刺繍糸に見立てて、紺色と金色の糸で刺繍して表現しています。美しいバナーに負けないよう、誇りを持って皆さんと共に一年間を頑張ります。

特集 ガバナーインタビュー

ガバナー L 吉田 勲

平成二十二年七月五日 福岡市「大阪屋」にて

「異体同心」を提言に掲げる 2010-2011 年度 吉田勲ガバナー。慢性化した地区の会員減少が続く中で、様々な「変革」の狼煙を挙げられた胸中を直撃インタビューした。

＝インタビューは地区 PR・IT・ザラタ編集委員長 L 西川とも彥（福岡桜ライオンズクラブ）

——この度はシドニーで開催されました第 93 回国際大会より帰国され、大変お疲れさまでした。元気なお姿に安堵しておりますが、まずはガバナー就任おめでとうございます。

吉田 ありがとうございます。

——最初にお尋ねしますが、シドニーの感想はいかがでしたか？

吉田 シドニーは日本と逆の季節で少し肌寒く感じました。エレクトセミナーが 4 日間、29 日に開会式と投票があり、7 月 2 日の閉会式にガバナーとして就任することができました。また、シド・スクラックス国際会長の明るく親しみのある人柄に大いに勇気づけられ、地区運営について役立つ研修もあり、ガバナーとして頑張る決意を固めた 11 日間でした。

——ガバナーとして意欲が充溢しておられ、頼もしい限りです。早速ですが、ガバナー提言に「異体同心」を掲げておられますが、その心を説明してください。

吉田 ライオンズクラブもそうなのですが、私は世の中の人と人との結びつきがだんだんと希薄になってきているような気がしています。それで結びつきを強めていただきたいと思っています。「異体同心」とは、顔も性別も体つきも年齢も考え方・価値観も皆さん違うわけですが、自分と相手の違いをまずは認め合う、理解すると言うことです。そこからはじめないと、私は物事が始まらないと思っています。



——国際協会の目的にも書いてありますよね。

吉田 そうなんです。ですからいくら正しいことであっても「あの人の意見だからケンシカラン」なんて考え方は良くないと思う

んです。様々な違う考え方や意見を元にして、一つの大きな縄を結って心を一にすることが、今の世の中に欠けていると思っています。

——昔は「寛容の精神」とよく言われていましたが、私は日本人の「寛容」の使い方に違和感があります。

吉田 私は「寛容の精神」と「相互理解」は全く違うと思っています。自分のやっていることを「寛容」にとおっしゃっている方には緊張感がありませんね。「相互理解」には行動が伴いますから、良い絆が生まれてくるものだと思います。「体は違っても心は一つですよ」というふうになって欲しいですね。

——キャビネットのコンセプトをお聞きたいのですが？

吉田 歴代ガバナーは地域色を出される方が多かったのですが、私のピンやバナーのデザインは、ヘレン・ケラー女史が我々に呼びかけられた「盲人の騎士たれ」というメッセージを元に“騎士の盾”としました。またこれは我地区 5 つのリジョンを表し、さらには 5 つの準地区により構成される 337 複合地区をも表現しています。そこには“九州は一つ”という願いも込められています。やはりライオンズの奉仕の原点は視覚保護ですから、その精神を一番に掲げています。

——この石はスワロフスキーでお洒落ですね（笑）

吉田 ピンはクラブ会長や地区役員・委員の方々以外には差し上げていません。今期 3 人以上スポンサーしていただければ差し上げようと思っています（笑）。それから私は 3 つの「C」を推進しようと思っています。最初の「C」は「チェンジ」、二番目は「チャレンジ」、3 つめは「チャンス」です。混迷する現状のライオンズの状況はある意味大きな「チャンス」だと思っています。

——個人的にはこれに「クリエイト」をいれたいですね（笑）。変えた後に「創造」という意味です。

吉田 そうですね。「C」が 5 つ位あっても面白いですね（笑）

——地区ガバナーに就任されて一番やりたい（変革したい）ことは何でしょうか？

吉田 それは、先日大川市で開催されました第 56 回年次大会の最後に横断幕で皆さんにお知らせしました次回の年次大会なのですが、5,000 人の会員や家族を集めて開催することです。これは何としてでも実現させたいと思っています。

117クラブを駆けずり回ってでもお願いしたいです。何故そんなことをしたいのかというと、私がライオンズに入会した頃の年次大会は、先輩達から「年次大会に行け!!」と言われてたら素直に参加していました。スケールが大きく、圧倒されるような素晴らしいものでした。でも今の若い会員の皆さんは、ほとんど参加しませんよね。ですから、地区の皆さんが年次大会に参加したくなるような仕掛けをいくつか考えています。第一回ガバナー諮問委員会ではアイデアを募りたいとも思っていますし、そこから皆さんのご意見をお尋ねしながら作り上げていきたいですね。



——どんな仕掛けがあるのか楽しみですね。

吉田 現に代議員会までは皆さん参加されますが、年次大会がはじまると帰ってしまう方も多いですね。地区4,600名の会員が一堂に会する機会は、この日しかないんですよ。一年間の自分達の活動を総括することと同時に考えなければいけないことなのです。若手はよく仕事が忙しいといいますが、その通りで仕事があってライオンズ活動があるんですよ。それから家族の理解がないとライオンズを続けることは難しいと思っています。家族は所属クラブの家族例会には参加したことがあっても、年次大会には行きませんよね。ですから多くの他のクラブが様々なアクティビティをしていることや、地区の活動も家族の方に知っていただくことが大事なんです。さらにいいますと、自分の周りで生活する人々に「ライオンズクラブってこんな団体なんだ」と知ってもらう必要があります。ですからこれからは『ライオンズクラブの中のライオンズクラブ』ではダメなんです。幅広く公衆にライオンズを認識してもらう機会は、私は年次大会だと思っています。これが本当に実現できれば、地区は動きますよ。楽しい催しを企画したり、会員が出店して地元の名産などが購入できたり、子供達にも喜んでもらえるものになりたいです。会場となる小倉のメディアドームは8,000人収容できますから、一階に会員、二階から四階は家族やお知り合いの方々に開放して多くの人が集まってくれば、熱気があって素晴らしい年次大会になると思います。これからの新しい年次大会の形として提案したいですね。複合地区内の準地区ガバナーの皆さんにもお誘いしています。

——多くの一般の方々が会場におられるのに、あまりにも儀礼(プロトコル)的な大会になってしまうと、戸惑われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

吉田 それはちゃんと考えますよ。代議員大会までは前例踏襲でしょうが、年次大会になったら切り替えないとですね。

——これをきっかけに会員増強にも結び付くと良いですね。

吉田 ですから、まずは周囲の人たちにライオンズを知ってもらうことが大事なんです。

——そういう意味で、私は前期PR・IT・ザラタ編集委員の時にライオンズクラブPRDVDを制作したのですが、ああいうものを年次大会で放映したり、ライオンズの広告塔みたいな方も必要だと思います。ユニセフなどはPRも企業からの資金集めも上手ですね。

吉田 ライオンズはPRがヘタですから、考えないといけません。そりゃTVCMが一番効果があるでしょう。

——ライオンズメンバーに伝えたいことはありますか？

吉田 私はガバナーとして、この一年間一生懸命頑張る覚悟です。でもガバナーが終わったら(家業を)働きますよ。名誉顧問になって雑壇に座ってどうしようなんて考えていません。ガバナーの任期が終われば元ガバナーも一会員ですよ。その代わり行動力がある若手をどんどん押し上げてやりたいです。また「ライオンズは商売をしちゃいかん」とよくいわれますが、私はそれが手段や目的でなくて信頼に基づく結果であれば良いと思っています。地区でビジネスマップを作ってお互い情報交換するのも勧めたいですね。とにかくライオンズとしての誇りと自信を、会員の皆さんに取り戻して欲しいと思っています。「青年アカデミー」もそうですが、新しく仲間になった会員の皆さんに共感してもらえるような例会や組織にしていけないと思います。

——今後のライオンズはどうなっていくのでしょうか？

吉田 年次大会もそうですが、会員一人一人が意識を変えて一つの方向に進むことで、今までにない新しいスタイルのライオンズクラブに進化するのではないかと考えています。それを目指して地区運営をさせていただきたいと思っています。これからのガバナーは50代ですよ。60歳がぎりぎりですね。「これは」と思った若手は、ZCやRCを経験してもらえるようにしなければなりません。そのためにも先輩達がみんな推し上げましょうよ。

——会長経験者じゃなくても能力がある方は第一線の役員で頑張っていただきたいですね。

吉田 そうですよ。過去に鹿児島島のL谷川榮一は、会長未経験で国際理事になられましたよ。今はZC経験をしないとガバナーになれませんから、若手に早く経験してもらいたいです。

——様々なお話をお聞きして、吉田ガバナーは素晴らしいお考えの方だと思いました。本日はいろいろお聞かせいただきましてありがとうございました。健康に留意され、ご活躍されることを祈っております。

第93回国際大会 シドニー ガバナーレポート

6月23日 成田よりシドニーに飛び立った337複合のガバナーエレクト5人組+2名。長い研修期間を耐えながら互いを励まし合い後からやって来た皆さんと合流出来ました。パレードの成果はエジプトにつき総合で2位。開会式も華やかに始まり、世界の色とりどりのユニフォームで毎年ながら会場は満杯状態。ジャパンレセプションや複合337の夕べも見慣れた顔の皆様と御会い出来、研修の疲れが一度に吹っ飛びました。会場の周りには施設が集中していましたが、日本の式典会場の往復には判り難いこともあり、タクシーを使わず歩きが多く、良い運動になりました。帰ってからキャビネットの仕事が楽しみです。一年間のスタートとして“頑張るぞ”と心に誓い、寒かったシドニーを後にしました。

国際会長Lシドゴ夫妻とL吉田夫妻



ブルーのエレクトリボンを取って
L吉田ガバナー夫妻の喜びの一瞬です

この瞬間にガバナーエレクトからガバナーになりました
喚起の声が4名のガバナーから聞こえてくるようです



車椅子で参加していた
D地区L鬼塚ガバナー
の笑顔



閉会式で喜んでくれた三人も一緒に記念写真



シドニーの有名なオペラハウスとブリッジを
背景にL榎本・L泉幹事と記念写真をハチリ





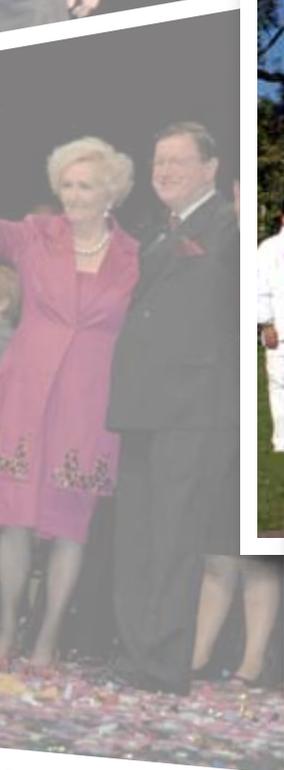
シドニー国際大会のパレード沿道に向かって手を振るガバナーエレクト吉田夫妻



日本国旗を中心に先頭でパレードをするし吉田夫妻



MD337の勇士。真ん中に陣取る国際大会委員長し榎本の元気な姿が



「MD337のタベ」で挨拶するガバナーエレクトし吉田



「337のタベ」で嬉しそうに挨拶をする国際理事し不老



337Aの国際大会参加者全員集合



地区委員長 活動目標・抱負

LCIF開発地区コーディネーター	L. 重松 史郎
地区会則・会員・エクステンション委員長	L. 佐々木 雅光
地区PR・IT・ザラタ編集委員長	L. 西川 ともゑ
地区ライオンズ情報・大会参加・指導力育成・アラート委員長	L. 財津 重美
地区青年アカデミー委員長	L. 徳永 修一郎
地区国際協調・LCIF委員長	L. 加治 接執
地区YCE委員長	L. 辛島 幸司
地区視聴力保護福祉・環境保全・献血・献腎委員長	L. 坂口 光昭
地区レオ・ライオネス・青少年育成・クエスト委員長	L. 大庭 英次郎

LCIF開発地区コーディネーター

L. 重松 史郎



LCIFはライオンズクラブの人道奉仕活動を支援する組織として、これまで輝かしい実績を重ねてきました。この財団をさらに強化するために「LCIF開発プラン」がウイーン理事会で決議され、「LCIFコーディネーター」という新たな役職が設置されることになりました。

2008年から2009年に「複合地区コーディネーター」・「地区コーディネーター」が任命され原則として4年間の任期となっています。

LCIFを推奨するとともに、資金獲得活動を増強するという使命を持ちながら国際本部から任命を受けて現在スタートしています。財団はLCIF理事会、開発諮問委員会、LCIF複合地区コーディネーター、LCIF地区コーディネーターと分化され組織化されるに至りました。

資金活動は会員皆様の協力により、これまで素晴らしい成績を収めてきたことも事実です。一会員として世界中のたくさんの

《救助の手を待つ人々》を救ってきたのだと実感しています。財団の世界の寄付金総額の上位15地区の中で、私たちの337-A地区はなんと6位に挙がっています。これもすごいことです。また、LCIFは、イギリスの権威ある機関紙である「ファイナンシャルタイムズ」の独自調査に基づく判定によって、世界で第1位の非政府組織と評されています。組織の規模や内容、期間の適格性などから審査された結果、最高の機関として認定されたのでしょう。私たちも会員として、大いなる信頼と、誇りを持ちながら資金提供に協力していきたいものです。

その方法についても各クラブの記念事業に合わせて実施したり、他にクラブ独自の方法を考えて行動したりして工夫すると素晴らしいと思います。好成績については財団からの特別な褒賞も可能です。ご相談下さい。

今期もどうぞよろしくご協力くださいますようお願いいたします。

地区会則・会員・エクステンション委員長

L. 佐々木 雅光



昨年度の吉田委員長より引継時に資料を見せて貰い、第一印象は大変な委員長を引き受けたものだと思います。今まで337A地区で取り組んだ永遠のテーマである、会員増強、会員維持、大会防止等を検討して行きたいと思います。

1. 会員増強

今年度目標会員 4883名 (2011年2月末日)

- ・いかにして新会員をサポートするか
- ・新会員獲得の為の手段
- ・説得のポイント

2. 退会防止

- ・3年未満の退会者 (25%)
- ・5年未満の退会者 (15%)

3. クラブ会員委員長の責任

招請と育成の2つの分野に分類される。双方の責任を適切に果たす事が出来れば各クラブの会員招請、育成活動は大きく進展する。

4. 会員維持

入会者の意義にそったクラブの活動が大切である。

地区PR・IT・ザラタ編集委員長

L. 西川 ともゑ



地区ガバナーL吉田勲の変革の一つでもあります各R毎の「ガバナー公式訪問」を一日でも早く開き、会員にガバナー提言を伝えたいという熱い思いのもと、第一回目の公式訪問にザ・ライオンズ・タイムズを間に合わせたいと思います。その為に各地区のPR・IT・ザラタ編集委員が6月中旬に集まり、年間方針を決めました。吉田ガバナーの意向に沿い、会員はもちろん一般の人達にも分かりやすいライオンズのPRを考えます。各号とも写真を多く掲載し、見やすく分かりやすい情報誌にします。

1. ザラタのネーミングについて

ザラタの意味を知らない人が多いので、語源の「THE LIONS TIMES」と大きく表記し、英語の通りにザ・ライオンズ・タイムズと呼称する

2. 発刊について

- ①第1号 7月20日予定 A4サイズ カラー24ページ
- ②第2号 1月下旬予定 A4サイズ カラー24ページ
- ③第3号 6月末予定 A4サイズ カラー24ページ

3. 337-Aライオンネットの活用

7月中旬の第一回キャビネット会議で目的と操作説明

地区ライオンズ情報・大会参加・指導力育成・アラート委員長 L. 財津 重美



2010～2011の役職についてたくさんの担当と課題を頂きましたが、泉幹事のご指導を受けながら出来る限りの努力で責任を果たしたいと思います。

★情報

近年ITの利用を促進することで時間と経費の削減をすると共に簡素に多くの人に情報を提供する

システムが構築中です。クラブ内ではなかなか知りえなかったゾーンやリジョンそして地区、複合などであった会議の内容や、議決を知ることが出来るようになるでしょう。出来るだけ正確にたくさんの情報をザ・ライオンズ・タイムズの方々、又は各地区委員の方々とも協力をしながら提供して行きたいと思えます。ぜひ、ライオンズのHPを開いて下さい。

★大会参加

最近の地区大会は代議員の議決のためだけの大会になっているように感じます。先輩の方々にお伺いすると以前は家族を同伴して大会と同時にエクスカージョンを楽しんでいたとお聞きし

ました。吉田ガバナーは2011年北九州メディアドームで開催の地区大会にはぜひ以前の様に家族ともども参加していただき、ライオンズの状況や活動内容を家族の方々にも是非知っていただきたいと抱負を述べておられます。またそれが一般の多くの人に報道され知ってもらうことによりライオンズクラブへの入会を促されるのではと期待します。そのための企画を練って行きたいと思えます。

★指導力育成

ライオンズクラブの会議の基本であるロバート議事法の周知を図りたいと思えます。

★アラート

いつ起こるか分からない災害に対してライオンズが提供しえるウィザープ（奉仕）をいつでも出来るように各クラブにアラート委員会を設置していただき各クラブの連携や自治体との連携のもと後方支援の提供が出来る体制を整えたいと思えます。

地区青年アカデミー委員長

L. 徳永 修一郎



この度新設されました「青年アカデミー委員会」初代委員長を仰せつかりました。宜しく申し上げます。初代といいましても、この活動が有意義であると地区の諸先輩方に認知され、以降の地区ガバナーに継承されなければならないわけですから、その重責に身が引き締まる思いであります。当

委員会の目的は <次代のライオンズを担う人材育成と教育> であり、ひいては <MERLの推進> に繋げることであります。敢て対象者は、ライオン歴や知識・経験に囚われず自由な意見交換が出来る環境づくりのため、年齢50歳未満又はライオン歴5年未満とし、若手もしくは入会歴の浅い会員の皆さんが、委員会に参加することにより、適切な刺激を受け、問題意識を共有していただくことで、ライオンとしての自覚や指導力を身につけてもらえるような工夫が必要だと思っております。当委員会の最大のポイントは『クラブの垣根を越えた会員相互の交流と、人材育成による地区の活性化』であり、年間20回（対

象会員動員予測延べ約2,500名）にも及ぶ様々な活動（定例会・研修会・ブレイク・ストーミング・懇親会・旅行等）を通じて、対象者にクラブやゾーン、リジョンを越えた交流の場を提供することにより、ボトムアップの活性化を図る計画であります。委員会の草案から設立までには、丸二年以上の歳月を必要とし、その間多くの方々の、言葉には尽くせないご支援をいただきましたことをこの場をお借りして深く感謝申し上げます。まだまだ認知されていない委員会ではありますが、出来るだけ各クラブを訪問させていただきましてご理解を得たいと思っております。委員会のメンバーの皆さんも、『素晴らしい出会いの喜びを与えてくれたライオンズを元気にしたい!!』という気持ちで、一年間精進いたしてまいりますので、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

地区国際協調・LCIF委員長

L. 加治 接執



- ① LCIF (寄贈と運用)
- ② 海外クラブとの姉妹提携の支援
- ③ 355-G地区 (韓国)との交流・友好

3つの目標を持つ役割の委員長として吉田ガバナーの元、キャビネットと共に頑張ります。

地区YCE委員長

L. 辛島 幸司



今期YCE委員長をお引き受けしましたが、その責任の重さを深く受け止めております。諸先輩ライオンのご指導、各地区YCE委員の方々のご協力を頂きながら任務を全うしたいと思っています。2010～2011年度重点施策として

1. YCE事業のマニュアルの実行推進
2. 受入及び派遣はクラブの申し出を基本として、調整及び推進を図る。
3. レオクラブとの連絡強化を図る。
4. 複合地区及び地区内受入の公平化推進
5. 手本となる派遣生の育成

運営方針

1. 経済不況の中会員減少の為予算縮減対策と改革

今まで337-A地区には私の知る限りYCE委員会のHPがありませんでした。今期337-A地区のHPを作成しここにすべて夏期、冬期来日生、派遣生の報告書派遣生OB会活動を掲載し今までの報告書を廃止します。これにより次年度より予算縮減が見込まれます。一般公募生に関してはHP上に派遣申込書を掲載し幅広い募集をかけ厳正なる試験の元「手本となる派遣生の育成」を心がけていきたいと思ひます。一般公募生に関してはできるだけ海外旅行や海外留学未経験の子を中心にした派遣を心がけて行きたいと思ひます。

2. 来日生受け入れに関する事

ライオンズクラブも高齢化が進み毎年来日生受け入れには難航します。(特に冬期)

ライオンズメンバーに幅広く呼びかけ夏休み、冬休みの学校や専門学校その他施設の日中の受け入れのご紹介又派遣生OB会の協力を得てホストファミリーの負担を少しでも軽減できればと思ひています。

3. ライオンズメンバーの子弟の派遣の推進

レオクラブや新設された青年アカデミー委員会と連携を持ちながらライオンズメンバーの子弟を中心に積極的に派遣、受け入れをお願いしたいと思ひています。地区ガバナーL吉田 勲から重点施策の中でも特に「手本となる派遣生の育成」を言われています。このYCE事業に関してはクラブ毎に温度差があるのも痛感しております。しかしながら派遣されたお子さんにとっては多感な時期に海外の生活に触れ刺激を受けて帰国されるのは間違いありません。また来日生が帰国する日ホストファミリーが涙を流される場面を幾度と無く目の当たりにして来ました。その度にこの事業は素晴らしい事業であると再認識致します。前年度委員長L藤野忠義からの申し送り事項を厳守し今期のYCE事業の遂行に努力したいと思ひています。最後になりましたがガバナーL吉田勲を初め、地区役員の方々、各クラブの会長並びにYCE委員長には色々ご迷惑をお掛けすることと思ひますが、ご指導、ご協力を賜りますよう宜しくお願いします。

地区視聴力保護福祉・環境保全・献血・献腎委員長

L. 坂口 光昭



基本方針：献血事業の推進及び 献眼事業の推進

337-A地区における献眼運動の経緯は、1958年角膜移植に関する法律が制定されると、福岡LCが登録運動の先陣を切られた。それに呼応し他クラブも競って、入会と同時に登録手続きをする等、登録者は急激に増えていった。現在8割強の会員が登録されていると推測される。反面献眼者はきわめて少なく、過去5年間をみると年間1人ないし2人で献眼率は、2.8%である。因みに一昨年の献眼者は337-A地区1人、337-B地区6人、337-C地区37人でした。諸般の事情があると思われる。献眼登録が事前に家族に知らされていなかった。臨終に際し、配慮する余裕がなかった。眼球を取り出すことに抵抗があった等など、献眼という崇高な行為に対し、それをサポートする人がいてくれたら…、眼球を取り出すことなく献眼が出来たら…、献眼者は今後増えていくと思われる。眼球を取り出すことなく、角膜だけを取るアイバンク用マイクロケラトロン医療機器が前々期委員会よりLCIF援助交付金1,634,838円、地区ア

クティビティ資金2,750,000円、総額4,384,838円を懸けて、久留米大学アイバンクへ寄贈されている。更にそれを補充する。アイバンク用スペキュラーマイクロスコープ、アナライザー医療機器がちくご菜の花LCより前期の事業としてLCIF一般交付金1,479,000円、5R会ドネーション482,000円、ちくご菜の花LCアクティビティ資金1,136,500円、総額3,097,500円を懸けて、久留米大学アイバンクへ寄贈される運びとなり近々導入を見ることが出来る。アイバンクには一般的な啓蒙活動、日常的な活動のヘルプ、献眼者が出た際のヘルプ等を行う、アイバンク「サポーター制度」がある。日本アイバンク協会より研修を受けた後、認定を受けるとサポーターになることが出来る。任期は3年である。今期は、アイバンクサポート講習会を平成22年8月4日(水)八仙閣において実施することにしており、各クラブより1名の受講者を要請することにしております。アイバンクサポーターを中心として、クラブを挙げて献眼推進に力を注いでいただければ、アイバンク用マイクロケラトロン及びアナライザーの活用と相俟って337-A地区における献眼者は格段に増加し、視覚障害に対する奉仕、地域社会への大きな貢献となり、ライオンズクラブの存在感が一層評価されることでしょう。皆様の、献眼事業推進へのご尽力を、伏してお願い申し上げます。

地区ア

地区レオ・ライオネス・青少年育成・クエスト委員長

L. 大庭 英次郎



地区レオ・ライオネス・青少年育成・クエスト委員長を拝命し、337-A地区ガバナーL. 吉田 勲指導の下、レオ(青少年)育成を念頭におき、子ども達が成人し社会人としてまた、人の親となった時、レオクラブに所属し日々活動したことを誇りに、将来リーダーシップのとれる人材の

育成に最大の努力を傾注いたします。

1. レオ夏季研修大会の開催

- ・8月6日～9日まで3泊4日にて北九州市玄海青年の家に於いて開催する。
- ・研修内容については、レオ(子ども)達の意向を取り入れ立案させる。
- ・研修会開催中は他団体も研修中であり、規律を守り強調・忍耐・情熱をもって活動出来るように指導する。
- ・韓国355-G地区レオクラブの参加により国際交流を図る。

2. 韓国355-G地区へホームステイ派遣

8月20日～22日まで355-G地区のレオ宅にて寝食を共にして異国の文化を学び交流する。

3. レオ秋季研修会

レオ夏季研修大会終了後9月頃からレオ地区役員を交えて検討し立案する。(11月予定)

4. レオ地区年次大会

337複合地区の動向を伺いながら決定する。(平成23年3月予定)

5. 地区レオ委員会・レオ地区引き継ぎ会(平成23年5月予定)

6. 「ダメ・ゼツタイ」普及運動

麻薬・覚醒剤・大麻・シンナー乱用防止の啓蒙・県民運動への推進

7. ライオネスクラブ訪問

クラブ例会・アクティビティ事業へ訪問し、相互の活動に協力し合い支援する。

8. ライオンズクエストプログラム

各地で開催されるセミナーに参加し、研究・推進する。

新しいコミュニケーションツール

ライオンネットを活用しよう

337-A ライオンネット Q&A

この度 PR・IT・ザラタ編集委員会が企画いたしました SNS(インターネット上の社会的なネットワーク) コミュニティサイト「337-A ライオンネット」をご紹介します。

これは全国的なライオンズの活性化に一石を投じている「ライオンネット」の成功例に倣った日本初の準地区公式 SNS であります。ここで会員の皆さんが仲間作りをしながら、楽しく積極的に参加されることにより、地区内の様々な情報公開と可視化が推進され、リジョンやゾーン、クラブの垣根を越えた会員同士が対話することで、相互理解や活性化が大いに期待されることでしょう。

さらに詳しい説明をご希望の方はキャビネット事務局迄ご連絡ください。担当者がご説明させていただきますのでお気軽にお問い合わせください。



337-A ライオンネットへのログイン画面

Q どうしたら参加出来るの? 費用は?

ANSWER▶ 資格はライオンズクラブ会員及び業務従事者の方々です。招待制になっていますので、参加希望者はキャビネット事務局宛にメールアドレスを送信してください。参加後、友人を招待することもできます。費用は無料です。

Q どんな楽しみ方があるの?

ANSWER▶ まずはサイト内で沢山の友達(マイフレンド)作りをしましょう。それから日記を書いて公開してみましょう。お題はクラブ活動でも趣味やご家族のことでも何でも結構です。様々なマイフレンドがコメントの書き込みをしてくれたり、逆にマイフレンドの日記を閲覧することで、多くの情報が吸収できます。一度も会ったことがない友達が沢山できると、集まってオフ会を開いたり年次大会等に参加する楽しみも増えますね。

Q 地区の活性化にどうつながるの?

ANSWER▶ 地区役員経験者の方々与会員の皆さんがお互いに意見交換をしたり、事業や運営に関する様々なアイデアを提供し合ったり、緊急災害時に連絡を取り合い、災害地を支援する等の合同アクティビティや、合同例会を企画したりと、今までにない形の情報交換と会員相互の交流が期待できます。

Q どんな情報が閲覧できるの?

ANSWER▶ 日記に写真や動画を張り付けることにより、例えば国際大会の参加報告でも、クラブのアクティビティ報告でも、各種会合の様子でも… etc・・・公開した瞬間に多くのマイフレンドがその情報を閲覧することができます。このように情報を共有することで、多くの会員にキャビネットや各クラブの活動状況等が周知されることでしょう。

青年アカデミー委員会 **Q** & **A**

いよいよ本格的に動き出します「青年アカデミー」ですが、まだまだ会員の皆さんには目的や活動内容が理解されていないのが現状です。そこで今までに皆さんからご質問いただきました代表的疑問を『Q&A方式』でご紹介いたしたいと思います。さらに詳しい説明をご希望のクラブはキャビネット事務局迄ご連絡ください。委員会より担当者がご説明させていただきますのでお気軽にお問い合わせください。

Question
#01

委員会の設立の目的は？

Answer
#01

会員歴が浅い、又は若手会員に対して、クラブの垣根を越えた交流と、教育の場を与えることにより、ライオン歴や知識、経験にとらわれない自由な意見交換ができる環境を提供することで、ライオンとしての前向きな進化を誘い、地区活性化の原動力にしたいと思っています。

Question
#02

どんな活動をするの？

Answer
#02

地区やリジョン単位での、ブレインストーミング(問題解決手法)・各種研修会・合同アクティビティ・レクリエーション・懇親会等を行う予定です。参加ルールは、【演説厳禁】【人の意見や発表を頭ごなしに否定しない】【全員参加による自由な意見交換】であります。

Question
#03

必ずクラブに委員会を作らないといけないの？

Answer
#03

可能な限りお願いします。その場合、クラブ委員長が青年アカデミー代表者となります。対象者はその他の委員会と重複所属されてもかまいません。単独委員会設置が難しい場合は、既存委員会に対象者を配備してもらい、青年アカデミー代表者として副委員長を選任してください。どちらの場合も年齢制限の対象外とします。

Question
#04

若い対象者がいないから参加しなくても良いの？

Answer
#04

対象者がいないクラブも、委員会設置と青年アカデミー代表者の選任をお願いします。クラブ最大の義務は会員招請にあるといわれていますし、ライオン歴5年未満の会員であれば、年齢に関係なく対象者として委員会内での交流とスキルアップが期待できるのではないのでしょうか？

Question
#05

どんな効果があるの？

Answer
#05

若手会員が活性化することにより、「MERL(会員増強・新クラブ結成・会員維持・指導力育成)」の推進に結びつくと共に、レオ・ライオネス・YCE等の後継者やサポーター育成にも一定の効果を示すことができると思われます。

Question
#06

どうして対象者が、ライオン歴5年未満又は年齢が50歳未満なの？

Answer
#06

ライオン誌2009年12月号「ライオンズクラブ統計」によると、前年度に退会した会員の在籍年数調査では、5年未満の会員が約四割を占めていました。地区のサバンナによる対象者の動向も、2008年以降5年未満の会員数が大幅に減少しています。50歳未満に関しては、2009年3月にライオン誌が主催した「若手フォーラム」参加基準に基づきました。

Question
#07

対象者じゃなくても参加出来るの？

Answer
#07

サポーターとして、どなたでも参加できます。但し意見交換に関しては傍聴していただき、代わりに研修講師として講義をお願いすることもあると思いますので、宜しくお願いします。

Question
#08

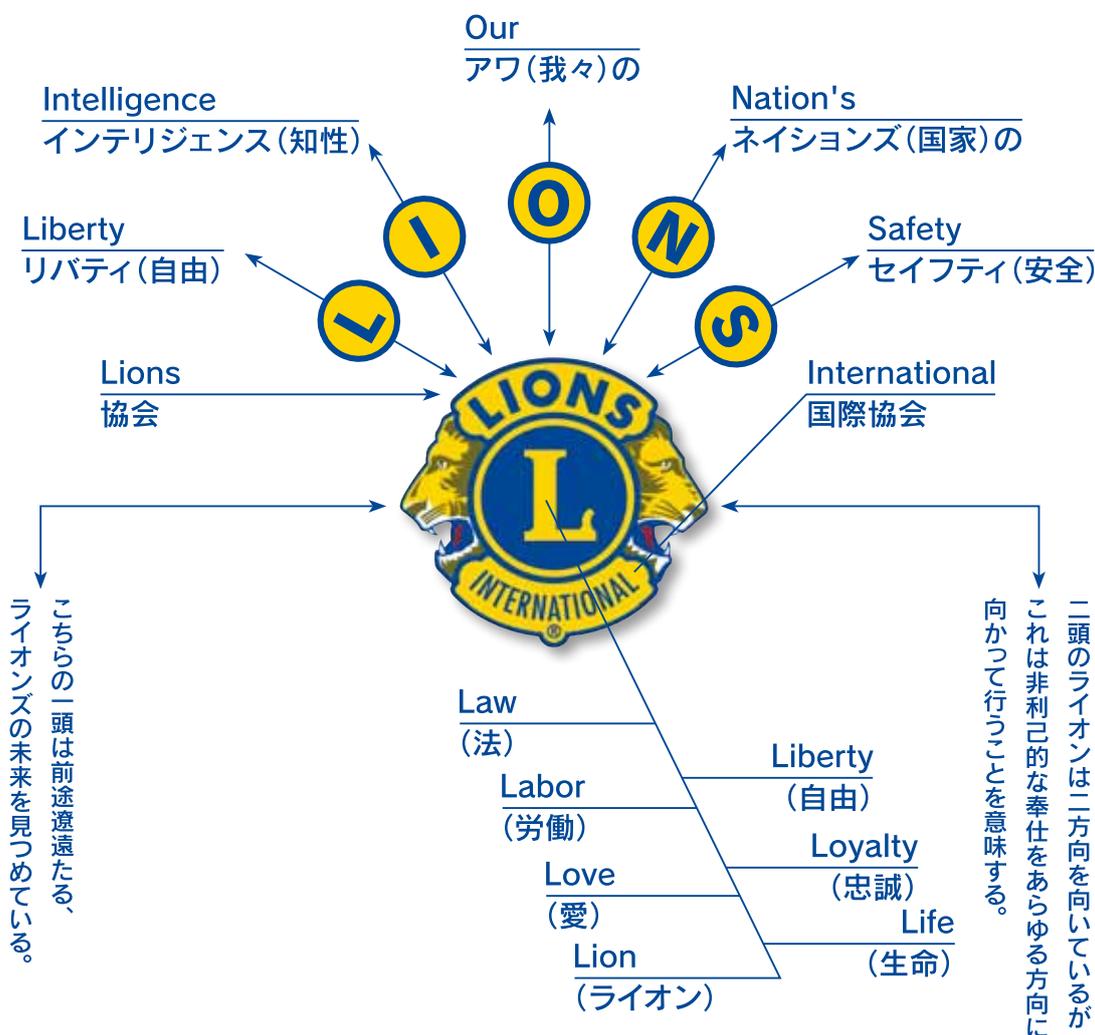
委員会内に役員が多いのはなぜ？

Answer
#08

仕事も第一線の現役が多いので、お互いをサポートするためや、委員会での連絡網の構築、責任を与えることによる達成感、運営の継続性、人材の発掘のために、敢て多くの方々にお世話役をお願いしています。なによりも参加する皆さんに『当事者意識』と『立国の気概』を持ってもらうことが大切だと思っています。

ライオンズ・マークについて マークの意味

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety



ライオンズ道徳綱領

- 職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確信すること。
- 事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。
- 事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。
- 世人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。
- 真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。
- 国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と労力と資力をささげること。
- 不孝な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を惜しまないこと。
- 批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること。

名誉顧問紹介

名誉顧問会議長

国際理事
4R
地区名誉顧問

ふろう やすまさ
不老 安正

太宰府 LC

株式会社かさの家
代表取締役

1R
地区名誉顧問

えのもと みのすけ
榎本 巳之助

北九州小倉 LC

榎本ビル商事
株式会社
代表取締役

2R
地区名誉顧問

たき えいじ
瀧 榮司

福岡フィフティ LC

株式会社
西日本キャロット
取締役会長

3R
地区名誉顧問

4R
地区名誉顧問

あそう よしひこ
麻生 好彦

博多リパティ LC

株式会社
サン設計室
代表取締役

5R
地区名誉顧問

たしろ まさひさ
田代 正久

小郡 LC

天理教太刀洗
文教会
代表役員

第一副地区ガバナー
4R
地区名誉顧問

いのうえ つとむ
井上 勉

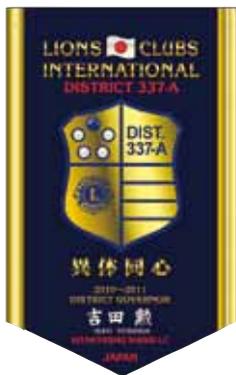
福岡那の津 LC

西部化成工業
株式会社
代表取締役

名誉顧問は、直近の元ガバナー及び第一副地区ガバナーをお願いしております。

ガバナー L 吉田 勲

ライオンズクラブ国際協会

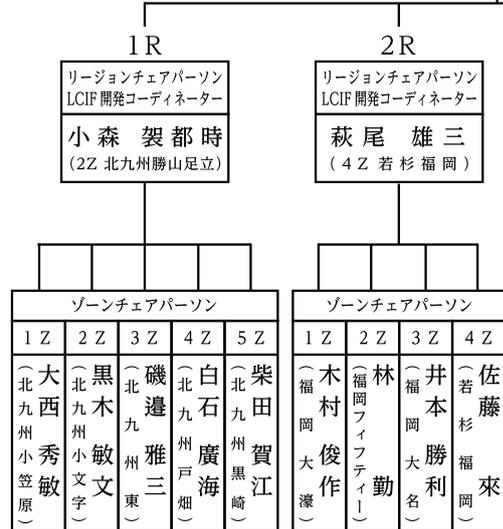


ガバナー 吉田 勲

前ガバナー
名誉顧問会議長

重松 史郎 (2R・2Z 福岡玄海)	林 榮一 (5R・2Z 八)	秦 三郎 (2R・2Z 福岡玄海)
-----------------------	-------------------	----------------------

名 誉 顧 問				
井上 勉 (4R・3Z 福岡那の津)	田代 正久 (5R・2Z 小郡)	麻生 好彦 (4R・2Z 博多リパティ)	瀧 榮司 (2R・2Z 福岡フイフティ)	榎本 巳之助 (1R・2Z 北九州小倉)
不老 安正 (4R・4Z 太宰府)				



1R					2R				3R			4R	
1Z	2Z	3Z	4Z	5Z	1Z	2Z	3Z	4Z	1Z	2Z	3Z	1Z	2Z
北九州 船越英豊	北九州小倉 原明生	北九州門司 日野雄二	北九州戸畑 黨泰嗣	北九州八幡 高崎元徳	福岡西 下瀬和俊	福岡舞鶴 橋山義博	福岡鶴城 中山稔	若杉福岡 松山正治	直方 松村喜八郎	行橋 木村博	山田 井上学	福岡 関戸秀子	福岡中央 山田義二
河村靖彦	浜野一俊	大瀬博巳	竹内裕重	北崎 勉	澤井隆彰	井上真輔	佐伯憲二	永元隆憲	齋藤修一	小田賢司	菊地昌洋	河津善博	明石喜登志
北九州中央 川本勇	北九州勝山足立 坂下正典	北九州東 清水丈夫	北九州若松 三原弘	北九州西 原田浩二	福岡北 西村大二郎	福岡城東 丸田安利	福岡筑前 増田弘治	杵 岐 平本光男	中間 石井安英	田川 宇都宮誠	飯塚 坂口高昭	福岡第一 田堀敏則	福岡南 網中健二
関根光夫	大田黒光彦	川端耕一	原田健次	占部秀敏	川口栄次	山田和男	山岡巖	川上安孝	石田亀喜	稲富貢	深田和正	高岡英紀	納富明
北九州紫水 山城則雄	北九州小文字 足立秀喜	北九州門司みなど 深堀勇	北九州高塔 平嶋浩	北九州帆柱 本庄正道	福岡大濠 福岡玄海	福岡赤坂 八木浩介	花鶴福岡 矢野勝成	福岡 西牟田弘也	宮 若 松浦良人	豊前 夕田勝三	稲築 荒木征男	福岡リパティ 関孝成	福岡ふよう 熊谷俊明
合原真司	榎本健一	原田昌直	栗原敏幸	篠崎文保	福岡黒田 朝稲敏隆	福岡誠 堀田智	福岡文化 持田恵美子	かすや南 百田清二	鞍手 川波輝嘉	上田川 太田原靖	嘉 穂 仲野弘尚	福岡くしだ 進藤廣二	福岡天神 遠藤隆二
藤川咲枝	宮熊攸治		後藤雅秀	沖芳訓	奥井知春	堤田智	持田恵美子	百田清二	川地 一	中村慈秀	末吉善次	津田芳文	大無田一郎
山口 猛	木本正樹		佐藤吉郎	村田真一	三野原一徳	石橋幸吉	林田俊二	江村孝之		下田川 中村信之	穂波 山本隆弘	福岡鴻鑑館 柴田 悟	博多リパティ 大森三夫
	北九州小倉東 金丸市郎		遠賀 江頭 實	江口 靖	福岡桜 原田則子	福岡シニア 西村康子	福岡大名 外尾信一	宗 像 白川多鶴子		日永田孝二	村岡康隆	久保田祐介	有田美穂子
	松村 誠		占部吉郎	原田和明	福岡NOZ 飛永真言	福岡花 太田美保	福岡平和 直村信一			苅田 桂川	大塚盛利	福岡城南 濱真二郎	
					奥村剛広	新郷桂子	中林秀雄			尾形和巳	中嶋政信	熊本祐治	
					福岡博愛 金森克己	福岡フイフティ 舛元光二	福岡黎明 松山憲正				筑 穂 有光省三		
					阿部美和子	川島 孝	井上福男				青木 琢美		
					福岡大樹 大隈信夫		福岡ベイシティ21 井上俊勝				庄 内 平野敏之		
					渡辺むつみ		平田哲子				飯塚竜王		
							福岡フレンズ 鈴木 廣				渡辺孝一		
							後藤 幹生				諸富賢一		
4C	5C	3C	5C	5C	8C	7C	9C	5C	4C	6C	9C	6C	5C

北九州小倉 レオクラブ	北九州小倉 平成レオクラブ	北九州八幡 レオクラブ	福岡鶴城 レオクラブ	福岡平和 レオクラブ	福岡黎明 レオクラブ	若杉福岡 レオクラブ	田川 レオクラブ
1R-1Z, 2Z 北九州 L 渡辺圭子 S 渡部道子	2R-2Z 福岡舞鶴 L 松村美津子 S 児嶋江美子	4R-1Z 福岡第一 L 北島美智代 S 安川タカヨ					

表紙の写真紹介 ～キャビネット構成員の方々～

MAIN COVER



第二
副地区ガバナー
L 松井 和子

第一
副地区ガバナー
L 井上 勉

ガバナー
L 吉田 勲

キャビネット
会計
L 三浦 祐亀

キャビネット
幹事
L 泉 義隆

5R・RC
L 浅川 龍憲

4R・RC
L 中村 政博

3R・RC
L 石山 洋一

2R・RC
L 萩尾 雄三

1R・RC
L 小森 袈都時

BACK COVER



1R

L 榎本 巳之助 L 大西 秀敏 L 黒木 敏文 L 磯邊 雅三 L 白石 廣海 L 柴田 賀江
L 佐々木 雅光 L 後藤 創一 L 池田 政浩 L 川上 和基 L 藤永 徳治

2R

L 木村 俊作 L 林 勤 L 井本 勝利 L 佐藤 来 L 重松 史郎
L 辛島 幸司 L 徳永 修一郎 L 西川 ともゑ L サーズ 恵美子

3R

L 木下 寿元 L 永田 勇 L 矢野 誠
L 大庭 英次郎

4R

L 堺 光則 L 村上 元紀 L 水城 昭正 L 大館 照光
L 深澤 正昭 L 財津 重美 L 加治 接執 L 砥板 雄志

5R

L 山村 晃司 L 檀上 善一 L 曾我 敏武 L 吉丸 英明
L 江頭 章二 L 坂口 光昭

編集後記



1R 委員 吉永 勝好 2R 委員 太田 健一 4R 委員 加藤 慶愛 5R 委員 吉田 喜三郎
キャビネット副幹事 川上 和基 委員長 西川 とも丞 3R 委員 桜井 雅子

ライオンズをどうPRすれば良いか改めてPRの意義、その重大さを考えさせられました。そしてその手段の一つとしてIT・ライオンネットの活用を広めたいと思います。又自分自身への勉強でもあります。PR誌は、ライオンズ会員に向けた内なるPRとノンライオンの皆様にも手に取って読んでもらえなければなりません。

今ライオンズの危機が叫ばれています。今回吉田ガバナーの心意気に応えたいと思い、誌面を大きく変えました。わかり易く伝える為ページ数を減らしオールカラーにしました。それも委員会の皆様のご理解とご協力のおかげです。感謝致します。これからも皆様のご協力をお願い申し上げます。

PR・IT・ザラタ編集委員長 西川 とも丞

ライオンズクラブ国際協会337-A地区 キャビネット紹介

キャビネット福岡事務局

〒810-0001 福岡市中央区天神3-15-24三天第一ビル6階
TEL : 092-791-5789 FAX : 092-732-5600
E-Mail : LC337a@biscuit.ocn.ne.jp

事務局長 長尾 不二郎 事務局員 坂下 弘子

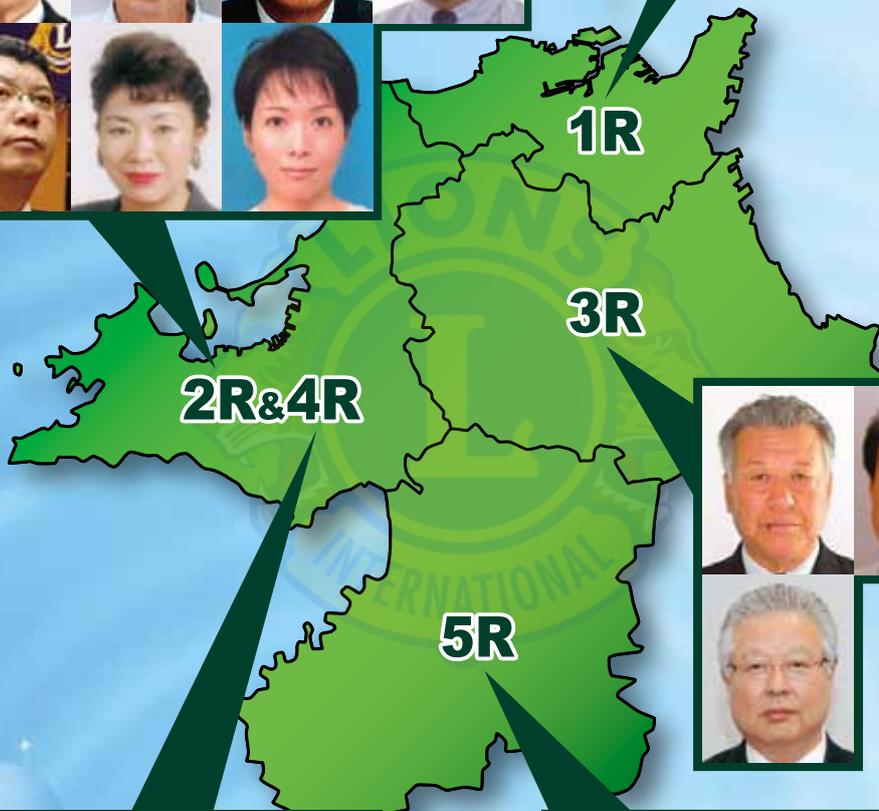


キャビネット北九州事務室

〒800-0208 北九州市小倉南区沼本町2-2-3
TEL : 093-474-1125 FAX : 093-474-1131
E-Mail : LC337a@biscuit.ocn.ne.jp

事務局員 岩崎 聖子





※写真の氏名は18ページに記載しております。